



ファームウェアバージョン:	V2.60.B047	
ハードウェアバージョン:	DGS-3620-28TC	A1/B1
	DGS-3620-28SC	
	DGS-3620-28PC	
	DGS-3620-52T	
	DGS-3620-52P	
発行日:	2016/6/20	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード手順：	2
CLI（シリアルポート）を使用したアップグレード	2
Web-UI を使用したアップグレード	4
追加機能：	7
MIB および D-View モジュールの変更点：	7
修正した問題点：	7
既知の問題：	7

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：v2.60.B047	2016/6/20	DGS-3620-28TC	A1、B1
		DGS-3620-28SC	
		DGS-3620-28PC	
		DGS-3620-52T	
		DGS-3620-52P	

注意事項：

1. 本ファームウェアには、EI および SI の機能が含まれています。
2. ハードウェアバージョン：B1 は、R2.50.024 以降のファームウェアをサポートしています。
R2.50.024 より前のファームウェアにダウングレードすると、スイッチは動作しません。

アップグレード手順：

アップグレードを行うには、CLI(シリアルポート)を使用する、もしくは Web-UI から行うことができます。

CLI (シリアルポート) を使用したアップグレード

1. スwitchの電源を切り、RS-232 シリアルポート（コンソールポート）で PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：115200
- データビット：8
- パリティ：none
- ストップビット：1
- フロー制御：none



2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本スイッチのシリアルポートを RS-232 DB-9 ケーブルで接続します。
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められますが、管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていないので「enter」キーを 2 回押し、ログインします。
4. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
download firmware_fromTFTP <ipaddr> src_file <path_filename 64> dest_file <pathname 64>	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image <pathname 64> boot_up	Boot up イメージファイルの変更をします。
show boot_file	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。

以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

```
DGS-3620-28TC:admin#download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 src_file
DGS3620_Run_2_60_B047.had dest_file DGS3620_Run_2_60_B047.had
Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 src_file DGS3620_Run_2_60_B047.had
dest_file DGS3620_Run_2_60_B047.had
```

```
Connecting to server..... Done.
Download firmware..... Done. Do not power off!
Please wait, programming flash..... Done.
```

```
Success.
DGS-3620-28TC:admin#config firmware image DGS3620_Run_2_60_B047.had boot_up
Command: config firmware image DGS3620_Run_2_60_B047.had boot_up
```

```
Success.
GS-3620-28TC:admin#show boot_file
Command: show boot_file
```

```
Bootup Firmware      : /c:/DGS3620_Run_2_60_B047.had
Bootup Configuration : /c:/config.cfg
```

```
DGS-3620-28TC:admin#reboot
Command: reboot
```

```
Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n)y
Please wait, the switch is rebooting...
```

注意 : スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

5. 上記のリブートが行われた後に、“show switch”コマンドを実行して、ファームウェアバージョンが正確に行われたことを確認してください。

Web-UI を使用したアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいてください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていないので「空白」でログインを行ってください。
5. スwitchのファームウェア更新を行うには、**Tools > Download Firmware > From TFTP** の順にクリックし、必要な情報を入力後、「Download」ボタンをクリックします。

Download Firmware from TFTP

Download Firmware From TFTP

TFTP Server IP ☒ IPv4 ☐ IPv6 ☐ Domain Name

Source File

Destination File

Boot Up ☒

Download

- TFTP Server IP: IPv4 もしくは IPv6 を選択し、TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
 - Source File : TFTP サーバ上に保存したダウンロード済みのファームウェアファイル名を入力します
 - Destination File : フラッシュドライブにファームウェアをロードするために、パスとファイル名を入力します。(例: c:/ DGS3620_Run_2_60_B047.had)
 - Boot UP : ここにチェックをいれると、再起動後にブートアップイメージファイルとして選択されます。
6. Current Status の値が 100%と表示されるまで待ちます。

Current Status : Done.

Percentage 100%

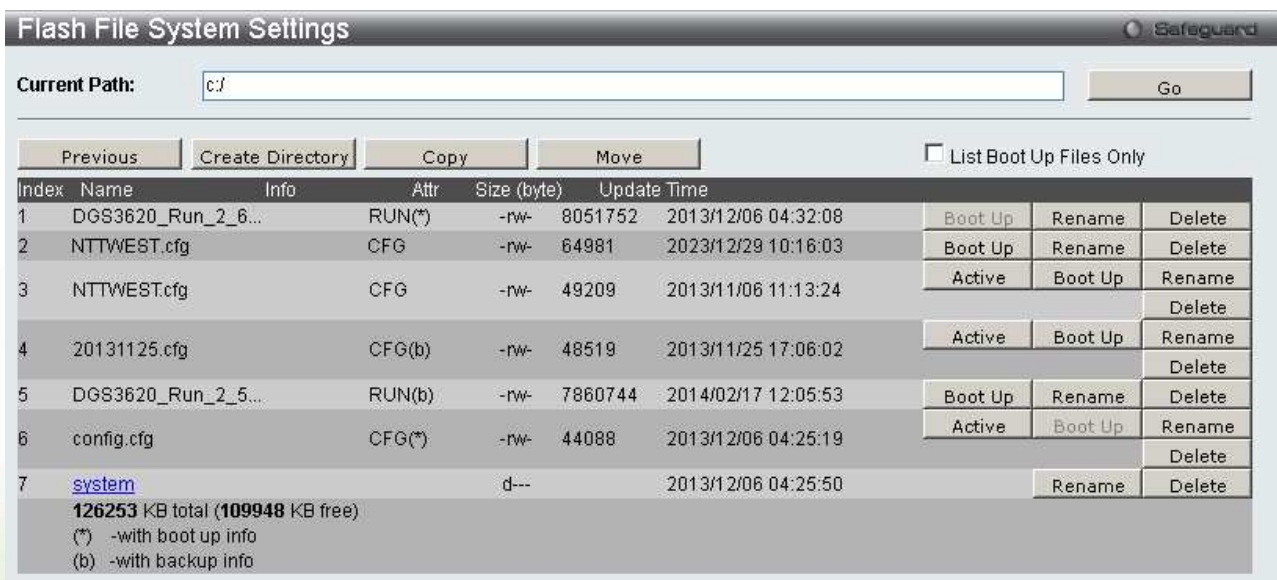
7. 次回のスイッチリブート時にブートアップを行うイメージが選択されているか確認するために、**Network Application > Flash File System Settings** の順にクリックします。



8. Root の C: をクリックします。



9. ファームウェアが無事にダウンロードされ、ブートアップイメージとして選択されているか否かを確認します。



ブートアップイメージとしてファームウェアが設定されていない場合は、該当するイメージの行にある「Boot Up」ボタンをクリックし、ブートアップファイルとして設定します。

10. スイッチのリブートを行ないます。リブートを行なうには、**Tools > Reboot System** をクリックします。



11. 「Reboot」 ボタンをクリック後、「Proceed to save the configuration and reboot the switch?」と表示されるので「OK」 ボタンをクリックし、スイッチを再起動してください。



注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
V2.60.B047	特になし

MIB および D-View モジュールの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
V2.60.B047	特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
V2.60.B047	1. IPv6 OSPF 機能において、自身の LSA を更新できなくなる場合がある問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
V2.60.B047	<ol style="list-style-type: none"> コンボポートにおいて、SFP の RX が信号を受信している状態では、SFP ポート、Copper ポートともリンクアップしない問題。 ケーブル診断機能において、実行中にリンクダウンする問題。 ケーブル診断機能において、Link 速度が 100Mbps(対向が FE のみサポートの PHY) の場合に診断結果が "Short" と表示される問題。 DHCP Relay が有効な VLAN Interface において、Broadcast の DISCOVER packet を flooding しない問題。 WAC/JWAC 認証について、ipif System の status が down の場合は機能しない問題。 RFC2328 として設定されている OSPF プロトコル内に複数の定義が存在するため、アタッカーが正しくない LSA(Link State Advertisement)プロトコルを送信可能となる問題。 対策①:OSPF の MD5 認証を有効にしてください。 対策②:OSPF パッシブインターフェースを有効にし、OSPF に関係しないインターフェース上でアップデートされるルーティングテーブルの送受信を止めてください。 対策③: MAC-based Access Control を有効にし、ネットワークと通信する前にデバイスを認証してください。 IPv4 OSPF 機能において、ECMP を有効の場合に、多数の等コスト経路が存在する際に、CPU 高負荷により OSPF の動作が不安定になる問題。

Copyright 2006-2016 D-link Japan K.K.